

第 103 回 薬剤師国家試験問題検討委員会「実務」部会報告書

平成 30 年 5 月 31 日

日 時 平成 30 年 5 月 12 日(土) 13:00~17:00

場 所 北海道科学大学

出席者

私立大学	57 校	72 名
国公立大学	12 校	12 名
計	69 校	84 名

委員長名	佐藤秀紀
所属大学名	北海道科学大学

1. 総合評価

全体として妥当な問題が多く、平易な問題から難易度の高い問題とバランスよく作成されていた。実務に関連した問題は、実臨床に即した問題解決能力を問う内容が多く、実務実習で学んだ知識を問うなど実践力が重視されていた。また医療現場での実務実習での経験が大切になり、論文からデータを引用するなど考えて対応する能力が必要な問題が出されていた。複合問題では、問題の関連性に配慮された問題が見受けられ妥当な組合せが増えているが、一部設問に関する症状などに合った複合性が十分でないものが見られた。症例問題において、情報不足と表現が曖昧で複数の正解が導き出されるものも見られ、提供する情報量や問題文の表現を工夫し、ベストな治療を選択する問題とするのか、与えられた状況で判断できる問題にするかを決めて問う配慮が必要である。また、ガイドラインに基づいていない症例も多く見られ、現実に想定できる事例を提示し、その事例に則した実臨床の問題の作成が必要である。複合問題では、前の問題が正解でないと、次の問題が回答できない問題も見られた。実務問題は、現在の取り組みについてのテーマが出題されていて薬剤師国家試験として概ね適切な問題であった。

2. 各項目の評価

1) 誤りがあると判断された問題

問 261：本患者は、C型肝炎の治療は初回と考えられる。C型肝炎に対する抗ウイルス治療においては、C型肝炎治療ガイドライン（2017年12月、第6版）では、IFNフリー治療を行うことを原則とし、IFNフリー-DAA治療不成功例における多剤耐性獲得などの特殊な場合を除いてIFNベースの治療は推奨されていないため、時代遅れの感があり、国家試験としては不適切である。

問 320：複数回答の場合、それらが同時に成立しうるものとするが、「イブプロフェン錠を販売する」と「ロキソプロフェン錠を販売する」の場合、いずれもNSAID製剤で両方を同時に販売することは基本的にないため、2つを正答として選ぶことには疑問がある。設問の仕方に工夫が必要。

（取り得る対応すべてを選択するのか、適切なものすべてを選ぶのか、解るように表現すべき）

2) 問題の観点から不適切である問題

問 85：「法的に」と入れた方がよいと考えるが薬事法制との部分の関連性を検討していただく。

問 86：妊娠週数を入れる必要性は考えられるが、難易度が上がるため検討が必要である。

問 198：褥瘡ケアチームでの壊死組織の対応の問題は、難易度の高い問題で、通常の授業では教えていない施設が多い、しかし実務実習で経験した学生には容易であり、実習施設間でのばらつきが

国家試験に反映される。

問 200：設問の情報が、70 歳男性の Scr が 1.4 で異常値と判断させるものだと考えるが、シタグリプチンの用量は通常用量であり、高 Mg 血症を意識させることもないと思われる。情報が少なく判断に迷う設問であった。

問 214：化学療法でのしびれと痛みの追加処方、いきなりブシ末まで入れる処方、臨床的な処方内容とは考えにくい問題であったと結論した。

問 232：リード文のバンコマイシンの剤形、用法・用量など患者情報が不足している。

問 248：患者背景が不明であり、ゾルピデム以外にも不正解とは言えないのでは。スポレキサント錠（ベルソラム錠）は 2016 年 12 月販売の新薬である。

問 250：服薬指導の設問としては問題ないが、問題文の症例で第 1 選択薬としてベンゾジアゼピン系を使用すべきでない。またこのような精神疾患患者の睡眠障害に対してラメルテオンを使用することもなく症例に対する薬物治療が不自然である。

問 252：ボノプラザン（2015 年 2 月薬価収載）を知らなくても正解は得られるが、出題は早すぎるのでは。

問 254：リード文に情報が少ないため、薬物治療が優先されるのか判断できない。胆石症診療ガイドライン 2016 には、胆石溶解薬としてウルソデオキシコール酸の有効性を認めているが、鎮痙薬フロプロピオンについては記述がなく、エビデンスのない薬物を出題すべきではない。

問 258：解ける問題ではあるが、末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドライン 2015 では、間欠性跛行に対する第 1 選択薬であるシロスタゾールが選択肢にない。症例に対する標準的な薬物治療を行っているようなリード文が望ましい。

問 270：マイコプラズマ肺炎に対する治療薬として日本マイコプラズマ学会の治療指針では、シプロフロキサシンは成人におけるマイコプラズマ肺炎外来治療の第 1 選択ではなく、適切ではない。かかりつけ薬剤師に関してシナリオの工夫が必要である。

問 276：69 歳、 $Ccr=42\text{mL/min}$ では、メトホルミンの後発医薬品製剤の一部は投与禁忌となる。同様に、CKD ガイドではグリメピリドも投与禁忌であり、禁忌になるような検査値を示すべきではない。検査値と処方薬との整合性をとる必要がある。

問 280：「追加の服薬指導」を問う意図が不明。ゼリーに対する先入観から「水無しで飲む」、「嚙んでも良い」と患者が誤解する可能性があり、剤形に関する選択肢が正解の一つのみとなっていて問い方に工夫が必要。問い方は極めて不自然である。

問 295：選択肢 5 が正答とされているが、アリピプラゾールも体重変動（増加・減少）に注意が必要な薬剤であり、推奨とまでいえるか疑問である。

問 308：複合問題全体に対して、共通文で挙げている症例や事例に絡んだリード文にかかる設問にすべき。

問 312：手術が 3 ヶ月後の設定で、設問が入院手術前の管理とあり、現実の想定になっていない。現実想定できる事例を提示し、その事例に則した問題を作成すべき

問 318：診断名などがなく、患者情報が少な過ぎる。ベストセラピーを選択するのか、与えられた状況で判断するのかを決めて問うべきでは。

問 333：薬剤性肝障害の型にかかわらず、タウリン、ソホスブビル、リバビリンは投与を推奨することはない。問題としては適切ではあるが、薬剤性の肝障害であれば消去法で回答できる。

問 340：高度腎機能障害の患者においてフェブキシostatの使用の安全性は確立しておらず、本剤を選択させるのは適切ではない。

3) 問題・選択肢の表現が不適切である問題

問 197：選択肢の2の吸着炭を床に大量にこぼした時の指導は、服薬説明ではないのではないかとまた通常の授業内容では教えていない内容である。

問 202：抗リウマチ薬ではなく、具体的な薬物名を記す方が良い。

問 206：チザニジンのみが医療用であり、他の選択肢の成分と揃えないと整合性に欠ける。

問 208：処方薬（カルビドパ→カルビドパ水和物 25mg）の名称を正確に記載することおよび用量を記載することが望ましい

問 211：選択肢に5で鉄剤を同時に併用していると、セフジニルによる赤色調でない場合もあり、尿や便の色調についての表現が不適切と結論した。

問 212：回答はできるが、個々の製剤特性を理解していないと解けない。この問題に限らないが選択肢を5つにすることに縛られるためにかえって意図が不明となってしまうことが懸念された。

問 221：タモキシフェンクエン酸塩錠 20 mg と、正しい医薬品名で出題してもらいたいとの意見が多く聞かれた。

問 236：肥満（BMI=27.3）であることから、選択肢4は妥当であるが、選択肢3はグレーと考える。一般的な問ならばよいが、症例問題（肥満（BMI=27.3））では、グレーともとらえられる選択肢は慎重に設定した方が良い。

問 246：リード文の処方薬のイコサペント酸エチル粒状カプセル 900mg の用法は、「食直後」とすべきである。

問 248：選択肢1のアモバルビタール錠はなく末では。またスポレキサントも正解でないのか、不適切であるとはいいきれない。

問 264：間質性肺炎患者を前に、薬剤師が医師に対して処方提案すること考えにくく、シナリオの工夫が望まれる。

問 272：ワルファリンK錠ではなく、ワルファリンカリウム錠と記載すべき。

問 286：薬名は、注射用シクロホスファミド水和物、注射用ビンクリスチン硫酸塩で医薬品名称は問題全体で統一をすべきである。

問 296：：リード文の「足側面」では範囲が不明瞭で「かかと側面」など具体的にした方が、「アキレス腱周囲」を導きやすく、使用部位などはなるべく明示して適切に表現すべき。

問 302：リード文の背景を考慮した上で、本問のような場合にはフェンタニル貼付剤など剤型を記載した方が丁寧である。

問 307：「変更を提案すべき」ではなく「疑義照会した方がよい、処方はどれか」との問題文にした方が適切である。

問 314：「最も適切」とした方が解答が明確となる

問 316：銘柄指定の後発品処方の場合、規格・含有量が異なる場合は薬価が安くなるなどの条件を満たさない限りは変更不可である。「原則として変更できない」であれば誤選択肢として選択できるのでは。

問 318：リード文に咳喘息などの病名がない設定で選択肢ツロブテロールを提案することはあまり望ましくない。

問 324：問題の設定に選択肢の優先度を考えるだけの情報が十分に示されておらず、現実に想定できる事例を提示し、その事例に則した問題を作成すべき。

問 326：問題としては適切ではあるが、胃の全摘手術後 VB12 の補充をしなかった場合は通常数年で貧血になることが多いため、状況設定に検討が必要である。

問 329：点滴速度や時間等、現実的な表現ではなく、適切な問題ではない。

問 334：血管外漏出後、点滴を再開するときは体の別の部位から再開することが望ましく、選択肢に記述の「左前腕の漏出部位以外から点滴を再開する」というのは、「漏出部位以外の左腕」を示唆しているので誤答としている可能性が考えられるが、選択肢の記述からでは右腕から再開する可能性も十分に考えられる。

問 338：ブリンクマン指数を知っているか否かだけの問題である。

問 341：リード文にあるチーム医療には限らない選択肢になっている。

問 342：選択肢 4 および 5 は、相反する表記であり、適切性を判断するための情報が少ない。

「L-アスパラギン酸K」は後発薬の商品名である。一般名は、L-アスパラギン酸カリウムである。

問 343：リード文の「・・・注意の必要な」は、注意を検討すべき、中止する等、明確な問題とすべきである。

問 344：LDL/HDL 比が低下することは期待されるが、個人データのバラつきによっては LDL/HDL 比に対して同様の検討をした場合に有意な影響がみられるかは実際に解析するまでは分からず、与えられたデータだけでは断言できない。選択肢 4 は確かに小さくなるが、有意であるかどうかは不明なので、「小さくなる」と言い切っているのか不明であり、情報が不足している。

問 345：消去法では正答に至るが、ここまで詳細な一般薬に関する知識を問うことが、現状の薬剤師国家試験の目的や位置づけを考慮した場合に必要なのか疑問である。

4) 「複合性が不適切な問題」

問 262：本問を間違えると次問も間違える。

問 264：本問を間違えると次問も間違える。

5) 「授業で触れていない問題」

別紙 1 のとおり。

問 198：褥瘡ケアチームでの壊死組織の対応の問題は難易度が高く、通常の授業では教えていない施設が多い、しかし実務実習で経験した学生には容易であり、実習施設間でのばらつきが国家試験に反映される事になる。

問 219：経口腸管洗浄剤の具体的な服用方法について実際に大学で教えることは少ないが、内容を問う問題であったと結論した。

問 222：日焼け止めは医薬品ではないため大学での講義内容には含まれておらず回答が困難な問題である。

問 240 : ホメピゾールは、教えていない施設が多いが、こんな問題も出ると意識しておく必要がある。

問 280 : ボナロンゼリーが冷所保存は教えていないが多かった。

問 336 : ほとんどの大学でガベキサートの静脈炎の対応までは教えていないのではないか。

問 338 : ブリンクマン指数は教えていないところが多かった

問 345 : 一般薬に関して小児にも服用できるものまでは教えていないところが多かった。

6) 「部会としての意見」欄に記載された事項

問 85 : コメントの通り、「法的に」と入れた方がよいと考えるが法規との部分の関連性を検討していただく。

問 86 : 妊娠週数を入れる必要性は考えられるが、難易度が上がるため検討が必要

問 200 : より良い問題とするためにはコメントの項目があればよいのでは。

設問に情報が不足しているため、判断しにくいと考えられる。

問 212 : 製剤的に工夫されたものがあるか不明のため判断できない。

問 234 : 選択肢 3 と 4 は、不適切な対応ということがあからさま過ぎる。患児と表現するなど、明確化すべき

問 238 : 選択肢 3 に関して、便潜血検査は進行大腸がんでは陽性率は高いが、早期大腸がんに対して陽性率が低いいため、大腸内視鏡の方が有効である。急な便秘という症状があるので、内科受診を勧めることも適切である。

問 246 : イコサペント酸エチル粒状カプセル 900mg の用法は、「食直後」とすべきである。

問 248 : 「アモバルビタール錠」はない。

スボレキサント錠 (ベルソラム錠) は 2016 年 12 月販売の新薬であり、国家試験に出題する医薬品としては、早すぎるのでは。

問 250 : 症例に対する薬物治療が不自然である。不安障害あるいはうつと考えられるが、そのような患者には SSRI や SNRI を使用するべき。

問 257 : 「相互作用の原因」は一般には代謝酵素関係では阻害剤あるいは誘導剤と同じ意味で使われるため影響を受ける薬剤は含まない印象もあるため「相互作用に関わる薬剤」、などとした方がよい。

問 264 : 間質性肺炎患者を前に、薬剤師が医師に対して処方提案することはあるのだろうか。

問 272 : ワルファリン錠は、正式にワルファリンカリウム錠と記載すべきである。

問 278 : ワクチン接種をすすめる選択肢 2 ワクチン接種の判断は薬剤師の業務外である。

問 280 : 出題意図が不明確。剤形に関する選択肢が正解の一つのみとなっている。

問 295 : 選択できないとまでは言えないが、推奨といえるか疑問である。

問 316 : 法規制度倫理より実務にふさわしい問題

問 330 : NPC/N について、スペルを記載する。

問 333 : タウリン、ソホスブビル、リバビリンは投与を推奨することはない。2 と 3 以外の選択肢は最初から考えない

問 334 : 血管外漏出時の具体的な対応までは授業では教えていない。

問 338 : ブリンクマン指数を知っているか否かだけの問いである。

問 340 : 高程度腎障害の患者においてフェブキソスタットの使用の安全性は確立しておらず、本剤を選択させるのは適切ではない。

問 341 : チーム医療とは限らない問題となっている。問題の意図がよくわからない。

問 345 : 一般薬に関する知識に関して、一部の大学では、ここまで詳細には教えていない。

7) その他特記事項

・AST、ALT は、単位を問 333 のように「IU/L」にする方が望ましい。(問 262、問 276)

・LDL-C (低密度リポタンパク質コレステロール) 130 mg/dL、HDL-C (高密度リポタンパク質コレステロール) とあり、問 237 は同様に () 内の記載があるが、問 344 は () が無い。国家試験としては、記載方法を統一してほしい。

3. 各問題の評価

別紙 1 のとおり

別紙 1 第103回薬剤師国家試験問題「実務」部会 評価表

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
必須 問題	81	0	69	0	2	67	0	1	67	1	4	60	5
	82	0	69	0	2	66	1	1	68	0	1	68	0
	83	0	69	0	0	69	0	2	67	0	1	66	3
	84	0	69	0	0	68	1	1	65	3	4	60	5
	85	0	68	1	1	68	0	1	68	0	1	67	1
	86	0	69	0	3	66	0	3	66	0	5	60	4
	87	0	69	0	0	67	2	1	68	0	5	63	1
	88	0	69	0	0	69	0	0	69	0	2	65	2
	89	0	69	0	0	68	1	1	67	1	1	63	5
	90	0	68	1	3	65	1	1	68	0	3	63	3

	番号	誤り			適切性			表現			複合性		授業で教えて			
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
複 合 問 題	197	0	69	0	2	63	4	5	60	4	1	65	3	4	42	23
	198	0	68	1	4	62	3	0	67	2	2	62	5	10	41	18
	200	1	68	0	6	60	3	5	64	0	3	89	7	4	52	13
	202	1	68	0	1	68	0	3	65	1	1	65	3	0	68	1
	205	0	69	0	3	60	6	1	66	2	0	67	2	13	47	9
	206	0	67	2	2	66	1	3	63	3	0	67	2	2	84	13
	208	0	69	0	2	67	0	1	67	1	0	66	3	0	68	1
	211	1	66	2	3	65	1	7	55	7	1	66	2	0	68	1
	212	0	69	0	2	66	1	6	62	1	1	65	3	3	60	6
	214	0	68	1	6	62	1	0	68	1	3	63	3	5	57	7
	217	48	16	5	23	39	7	35	28	6	4	60	5	5	56	8
	219	0	69	0	3	63	3	2	67	0	0	66	3	11	47	11
	221	0	69	0	1	67	1	0	69	0	0	66	3	5	58	6
	222	0	67	2	2	55	12	1	62	6	0	59	10	15	36	18
	224	32	30	7	18	42	9	29	34	6	0	63	6	4	52	13
	226	2	67	0	2	67	0	3	66	0	1	64	4	0	60	9
	228	0	68	1	0	68	1	4	62	3	3	64	2	7	54	8
	230	0	69	0	3	65	1	0	69	0	0	68	1	2	66	1
	232	1	68	0	1	68	0	1	67	1	3	65	1	2	66	1
	234	0	68	1	0	68	1	2	65	2	1	67	1	1	68	0
	236	0	69	0	0	69	0	3	66	0	3	66	0	1	65	3
	238	0	69	0	1	68	0	3	65	1	3	66	0	2	63	4
	240	0	69	0	3	59	7	0	67	2	1	65	3	17	36	16
	243	0	69	0	0	69	0	0	68	1	1	66	2	2	64	3
	244	1	64	4	0	69	0	3	63	3	2	65	2	1	55	13
	246	0	69	0	0	68	1	3	66	0	0	69	0	1	65	3
	248	0	67	2	3	64	2	6	63	0	0	68	1	3	64	2
	250	0	69	0	2	66	1	1	67	1	0	67	2	1	65	3
252	0	69	0	0	68	1	1	68	0	0	68	1	2	64	3	
254	0	69	0	3	66	0	1	68	0	1	68	0	1	63	5	
257	0	69	0	0	68	1	1	67	1	2	63	4	0	65	4	
258	1	68	0	2	67	0	2	66	1	1	67	1	4	63	2	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
複 合 問 題	261	2	66	1	3	64	2	2	64	3	0	66	3	3	62	4
	262	0	69	0	2	67	0	2	66	1	1	66	2	1	68	0
	264	0	69	0	1	68	0	3	66	0	1	67	1	1	64	4
	266	0	69	0	0	69	0	0	69	0	3	64	2	2	65	2
	268	1	68	0	1	67	1	4	63	2	1	67	1	3	63	3
	270	1	68	0	3	65	1	5	63	1	0	67	2	2	65	2
	272	1	68	0	1	67	1	2	65	2	0	68	1	1	67	1
	274	0	69	0	1	68	0	3	65	1	1	67	1	1	66	2
	276	0	69	0	1	68	0	0	67	2	0	68	1	3	61	5
	278	0	69	0	1	68	0	1	67	1	0	67	2	2	64	3
	280	0	69	0	5	63	1	2	65	2	0	63	6	10	43	16
	282	0	68	1	0	66	3	0	69	0	1	67	1	4	51	14
	285	2	67	0	1	66	2	2	66	1	1	65	3	2	63	4
	286	1	67	1	2	65	2	1	68	0	1	65	3	0	64	5
	288	1	68	0	3	64	2	7	60	2	1	65	3	3	58	8
	290	0	69	0	0	69	0	1	67	1	0	67	2	0	67	2
	292	23	39	7	8	55	6	31	31	7	1	63	5	3	59	7
	295	2	65	2	4	62	3	3	63	3	1	63	5	5	52	12
	296	1	67	1	0	68	1	4	64	1	0	67	2	8	45	16
	299	0	69	0	1	68	0	3	65	1	0	68	1	1	63	5
	300	0	68	1	0	66	3	2	65	2	1	66	2	3	53	13
	302	0	69	0	0	69	0	2	67	0	0	68	1	1	66	2
	304	0	66	3	5	58	6	6	58	5	0	66	3	8	47	14
	307	0	69	0	1	66	2	1	66	2	0	66	3	6	63	0
308	0	69	0	1	67	1	2	65	2	3	64	2	1	66	2	
310	0	69	0	1	68	0	2	67	0	1	65	3	1	63	5	
312	0	69	0	0	68	1	4	64	1	3	64	2	1	63	5	
314	0	69	0	0	65	4	6	62	1	2	63	4	1	65	3	
316	0	69	0	0	69	0	3	65	1	2	66	1	0	66	3	
318	0	68	1	2	66	1	2	66	1	1	66	2	2	64	3	
320	1	67	1	3	63	3	2	65	2	3	64	2	0	64	5	
322	0	69	0	0	67	2	2	66	1	1	65	3	0	68	1	
324	0	69	0	1	67	1	1	66	2	2	66	1	1	66	2	

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
薬 学 実 践 問 題	326	0	69	0	2	67	0	0	68	1	3	62	4
	327	0	69	0	1	68	0	1	68	0	0	62	7
	328	0	69	0	0	69	0	0	69	0	0	68	1
	329	2	63	4	5	61	3	9	54	6	2	55	12
	330	0	69	0	0	69	0	0	68	1	3	66	0
	331	0	69	0	2	67	0	0	69	0	0	68	1
	332	1	66	2	0	65	4	1	66	2	5	61	3
	333	0	69	0	3	65	1	3	64	2	6	50	13
	334	1	67	1	3	65	1	6	57	6	9	49	11
	335	0	69	0	0	69	0	0	69	0	0	65	4

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
薬学 実践 問題	336	1	67	1	0	69	0	0	66	3	6	54	9
	337	0	69	0	0	69	0	2	66	1	5	59	5
	338	0	69	0	1	64	4	1	66	2	9	51	9
	339	0	68	1	2	64	3	1	68	0	8	51	10
	340	0	67	2	3	64	2	1	66	2	4	60	5
	341	0	69	0	4	64	1	4	63	2	1	65	3
	342	0	69	0	2	67	0	3	65	1	4	61	4
	343	0	69	0	2	66	1	0	66	3	2	56	11
	344	0	68	1	1	66	2	2	65	2	11	43	15
	345	1	66	2	4	61	4	4	60	5	9	51	9

(注)数字は回答大学数である。